外国語活動指導案

学校名　世羅町立世羅小学校
指導者　Ｔ１　ＨＲＴ　荒谷　誠
Ｔ２　ＡＬＴ　Brittney Imada
Ｔ３　ＪＥＴ　中間みどり

１　日　時　令和元年 10 月 30 日（水）５校時　（14:20～15:05）
２　学　年　第６学年Ａ組（27 名）
３　単元名　I like my town.　（We Can!2　Unit 4）
４　単元について

（３）　話すこと［やり取り］
イ　日常生活に関する身近で簡単な事柄について，自分の考えや気持ちなどを，簡単な語句や基本的な表現を用いて伝え合うことができるようにする。
（４）　話すこと［発表］
ウ　身近で簡単な事柄について，伝えようとする内容を整理した上で，自分の考えや気持ちなどを，簡単な語句や基本的な表現を用いて話すことができるようにする。
（５）　書くこと
イ　自分のことや身近で簡単な事柄について，例文を参考に，音声で十分に慣れ親しんだ簡単な語句や基本的な表現を用いて書くことができるようにする。
小学校学習指導要領解説 外国語活動・外国語編（平成 29 年７月告示）

○児童観

児童は，My Summer Vacation の単元で，５文程度の書く活動を行っている。毎時間行っている Small Talk では，Do you like ～? Can you ～?の表現を使って会話が続くようになってきている。児童実態を把握するため，アンケートを実施した。以下がアンケート結果である。（９月実施）

	設　問	児　童　の　回　答	分　析
1	自信をもって自分の思いを英語で相手へ伝えることができる。	とてもよくできる 15% できる 67% あまりできない 15% できない 0%	・Small Talk や Interview Time で会話したり自己表現し合ったりすることに慣れさせることを通して，少しずつ児童の自信につながってきている。
2	スモールトークの時など，友だちとやり取りをする時には，会話が続くように，知っている英語表現を使うようにしている。	とてもよくできる 22% できる 67% あまりできない 10% できない 0%	・Small Talk 後に「＋ONE」の場面ではどんな表現でやり取りしたのかを問うことで，知っている英語表現を使うことに慣れてきている。
3	英語を書くことに慣れてきた。	とてもよくできる 44% できる 50% あまりできない 3% できない 3%	・各単元で「書く活動」を頻繁に取り入れた学習を行ってきており，慣れてきたと感じる児童が多い。
4	英語を正しく書くことができている。	とてもよくできる 30% できる 45% あまりできない 22% できない 3%	・一方，正しく書くことに対しては，まだ自信を持てない児童もいる。

○指導観

指導にあたっては，毎時間の導入で行う Small Talk で既習表現のやり取りに自信を持たせるとともに，本単元で扱う表現を「＋ONE」でやり取りさせることで，新しい表現に慣れさせる。その際，

世羅の町についてマッピングをし，自分の伝えたい内容に関する写真をキーワードカードにする。それらをやり取りや書くことに生かすようにさせる。

書くことについては，「Sera」「is」「beautiful.」のように，初めのうちは３つの区切りをワークシートで用意したものに書かせ，慣れてきたら通常の４線に書かせるようにさせる。また，ＪＥＴの発音を聞きながらＴ１が書く手本を見て，発音しながら書かせる。その際，字間をわざと詰めて書くなど，敢えて間違いを示すことで正しい表現を認識させていく。

最終的に，やり取りを通して十分に慣れ親しんだ表現を，１文ずつ書き，それらをポスターに書くことで，無理なくまとまりのある文章を書くことができるようにしたい。

５　単元の目標

【コ】・他者に配慮しながら，進んで世羅の町について，自分の考えや気持ちを伝えようとする。

【慣】・世羅の町について，自分の考えや気持ちを伝え合う表現に慣れ親しむ。

・世羅の町について，簡単な語句や基本的な表現を用いてやり取りした表現を，例文を参考に書くことに慣れ親しむ。

【気】・英文の書き方の決まりに気付く。

６　単元の評価規準

コミュニケーションへの関心・意欲・態度	外国語への慣れ親しみ	言語や文化に関する気付き
・他者に配慮しながら，進んで世羅の町について，自分の考えや気持ちを伝えようとしている。	・世羅の町について，自分の考えや気持ちを伝え合う表現に慣れ親しんでいる。 ・世羅の町について，簡単な語句や基本的な表現を用いてやり取りした表現を，例文を参考に書くことに慣れ親しんでいる。	・英文の書き方の決まりに気付いている。

７　単元ゴール

コミュニケーションの目的・場面・状況	世羅の町を紹介するポスターを作って，世羅の良さや世羅にほしいものを伝え合おう。
目指す発話例	A: Sera is beautiful. B: Oh, beautiful!　Why? A: We have many farms.　We can see many beautiful flowers. B: That's nice.　I like beautiful flowers, too. B: What do you want in Sera? A: We don't have an arcade. 　I want an arcade. B: Why? A: I like computer games.　Do you like computer games? B: Yes, I do.　I like computer games very much! Sera is beautiful. We have many farms. We don't have an arcade.　※ポスターの例文 I want an arcade. I like computer games.

８　単元計画（全６時間　本時５／６時間）

時	目標（◆）	評価規準	言語材料 目指す発話例
1	◆世羅の町にあるものとその良さについて，話したり例文を参考に主語や動詞を分割したカードに書いたりし，単元ゴールをつかむ。	【コ】 進んで世羅の町について，自分の考えや気持ちを伝えようとしている。 【気】 英文の書き方の決まりに気付いている。	A: Sera is beautiful. B: Why? A: We have many farms. We can see many beautiful flowers. B: That's nice.
2	◆世羅の町にあってほしいものについてやり取りをしたり，例文を参考に主語や動詞を分割したカードに書いたりする。	【慣】 世羅の町について，自分の考えや気持ちを伝え合う表現に慣れ親しんでいる。 【気】 英文の書き方の決まりに気付いている。	A: Sera is beautiful. B: Why? A: We have many farms. We can see many beautiful flowers. B: That's nice. B: What do you want in Sera? A: We don't have an arcade. I want an arcade.
3	◆世羅の町にあってほしいものとその理由についてやり取りをしたり，例文を参考に主語や動詞を分割したカードに書いたりする。	【慣】 世羅の町について，簡単な語句や基本的な表現を用いてやり取りした表現を，例文を参考に書くことに慣れ親しんでいる。 【気】 英文の書き方の決まりに気付いている。	A: Sera is beautiful. B: Why? A: We have many farms.　We can see many beautiful flowers. B: That's nice. B: What do you want in Sera? A: We don't have an arcade. I want an arcade. B: Why? A: I like computer games.
4	◆友だちと会話を楽しみ，書き方の決まりに気をつけて前半の３文を書き入れ，世羅の町を紹介するポスター作りを進める。	【コ】 他者に配慮しながら，進んで世羅の町について，自分の考えや気持ちを伝えようとしている。 【慣】 世羅の町について，簡単な語句や基本的な表現を用いてやり取りした表現を，例文を参考に書くことに慣れ親しんでいる。	A: Sera is beautiful. B: Oh, beautiful!　Why? A: We have many farms.　We can see many beautiful flowers. B: That's nice.　I like beautiful flowers, too.
5 本時	◆友だちと会話を楽しみ，書き方の決まりに気をつけて後半の３文を書き入れ，世羅の町を紹介するポスターを完成させる。	【コ】 他者に配慮しながら，進んで世羅の町について，自分の考えや気持ちを伝えようとしている。 【慣】 世羅の町について，簡単な語句や基本的な表現を用いてやり取りした表現を，例文を参考に書くことに慣れ親しんでいる。	A: Sera is beautiful. B: Oh, beautiful!　Why? A: We have many farms.　We can see many beautiful flowers. B: That's nice. I like beautiful flowers, too. B: What do you want in Sera? A: We don't have an arcade. I want an arcade. B: Why? A: I like computer games.　Do you like computer games? B: Yes, I do. I like computer games very much!
6	◆さらにたくさんの友だちと会話を楽しみながら，世羅の町について紹介し合う。	【コ】 他者に配慮しながら，進んで世羅の町について，自分の考えや気持ちを伝えようとしている。	

９　本時の計画

（１）目標

今までカードに書き溜めたものを参考に友だちと会話を楽しみ，書き方の決まりに気をつけて後半の３文を書き入れ，世羅の町を紹介するポスターを完成させる。

（２）評価規準

【コ】他者に配慮しながら，進んで世羅の町について，自分の考えや気持ちを伝えようとしている。

【慣】世羅の町について，簡単な語句や基本的な表現を用いてやり取りした表現を，例文を参考に書くことに慣れ親しんでいる。

（３）準備物

英文記入用カード，ポスター用紙，紹介したい物の写真，使用英語例（黒板掲示用），振り返りカード

（４）展開

学習活動	指導者の役割		・指導上の留意事項 ◆評価規準（評価方法）
	T1	T2　T3 （ALT・JET）	
1　挨拶をする。 ・ペアで挨拶をしあう。 【Small Talk】	Let's start our English class. Let's talk! <目指す発話例> A: Hi～.　How are you? B: I'm fine.　How are you? A: I'm fine, too.　What day… ＋ONE　question.		・T1 と ALT や JET がコミュニケーションを積極的に行っている児童をコミュニケーションリーダーとして，肯定的評価し，板書する。 ・積極的に友達とコミュニケーションをとったり，非言語の表現方法に取り組んだりしている児童やペアをほめて認めて励ます。そして，「Communication leader」として児童名を黒板に示すことで，よりよくなりたいという意欲を高める。
2　本時の課題を確認し，本時の見通しを持つ。	単元ゴール：世羅の町を紹介するポスターを作って，世羅の良さや世羅にほしいものを伝え合おう。 Today's goal：＋ONE の会話を入れて友だちと楽しく交流し，ポスターを完成させよう。		
3　書き溜めたカードを並べる。	○後半３文のカードを正しく並べて，出来上がった文章を隣同士で交流し合う。	○机間指導をしながら，順序の違う児童にアドバイスをするなど，個別対応をする。	・前時に並べた前半３文は台紙に糊付けしておき，その続きに並べさせる。
4　デモンストレーションを見て，この後の友だちとの会話の見通しをもつ。	○並べたカード（基本文）に，新しくプラスされている会話の部分を見つけるよう指示する。	○デモンストレーションをする。 ○網掛けの部分は，即興の会話として言う。	・後半の３文が書かれていないポスターを使って　JET と ALT で会話し，児童に会話の見通しをもたせる。 ・会話に慣れていない児童のために，前半３文までが書かれたポスター（児童が持っているものと同様のもの）に前時で取り

	[Look and Listen!] JET: Hello!　It's my turn. Sera is beautiful. ALT: Oh, beautiful!　Why? JET: We have many farms. We can see many beautiful flowers. (point the picture) ALT: That's nice.　I like beautiful flowers, too. ALT: What do you want in Sera? JET: We don't have an arcade. I want an arcade. (point the picture) ALT: Why? JET: I like computer games. Do you like computer games? ALT: Yes, I do.　I like computer games very much!		入れた＋ONE の会話を書き込んだものを黒板に掲示しておく。
5　新しくプラスされている会話を見つける。	○見つけた＋ONE の会話を発表させ，板書していく。 ・ Do you like～ ・ ～ very much		・短冊で用意しておく。
6　ポスターを使って，友だちと会話をする。	○見つけた＋ONE の会話を入れて，友だちと交流させる。 ・表情豊かに積極的に会話しているペアや，ポスターを相手にうまく提示したり，共感したり質問したりする言葉（Oh，～や Do you～? など）を使ってやり取りできている児童をほめて認めて励ます。	○児童の会話の様子を見て，モデルになりそうなペアを見つける。	・これまでの学習にプラスして，会話の最中に「共感した言葉」や「質問」を入れて，会話を続けるようにさせる。
7　友だちのモデルを見て，どういう良さがあるか見つける。 8　再度，会話する。	○＋ONE の会話を入れて交流できているペアを見させ，良さを見つけて発表させる。 ・＋ONE の会話を入れて楽しそうに会話していた。 ・相手を見てアイコンタクトで会話していた。 ・先ほど見つけた良さを生かしてやり取りできている児童をほめて認めて励ます。		・新たにコミュニケーションリーダーとして板書に付け加える。 ◆他者に配慮しながら，進んで世羅の町について，自分の考えや気持ちを伝えようとしている。 (行動観察)
9　世羅の町を紹介するポスターを完成させる。 10　本時の学習を振り返る。	○残りの文章を書いてポスターを完成させる。 Let's do 振り返り		◆世羅の町について，簡単な語句や基本的な表現を用いてやり取りした表現を，例文を参考に書くことに慣れ親しんでいる。 (ポスター) ◇児童同士の相互評価を行う。
【児童の振り返り（例）】 ○○さんは会話の途中で，共感した言葉や，質問などをうまくおりまぜて会話してくれたので，会話が楽しく弾みました。～の理由で世羅が好きなんだということが分かりました。 わたしも，Why などを使って，スムーズに楽しく会話ができました。			
11　終わりの挨拶をする。	○もう一度授業で活躍した「Communication leader」を評価する。	○ALT は，感想やもっとよくなるためのアドバイスを伝える。	

10　板書計画

10/30
Wed.

単元ゴール：世羅の町を紹介するポスターを作って，世羅の良さや世羅にほしいものを伝え合おう。

Today's goal：＋ONE の会話を入れて友だちと楽しく交流し，ポスターを完成させよう。

Communication Leader

Small Talk

Hi.　How are you?
What day is it today?
What's the date today?
How is the weather today?
What time is it now?

＋ONE

Bye

例文
ポスター

並べたカード

＋ONE でもっと会話を楽しくしよう

Oh, beautiful!
I like beautiful flowers, too.
Do you like computer games?
Yes, I do.
I like computer games very much!